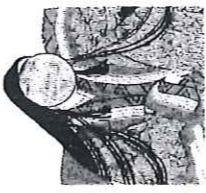


渦が森小 五年 国語 「古典の世界(一)①」

月 日 名前

1 教科書 64 ページを開きましょう。声に出して読みましょう。

千年以上前に生きていた人たちは、どんなものを楽しみ、何を見てどんな気持ちになっていたのでしょうか。66 ページを開けてみましょう。



いろいろな古典作品を知り、声に出して楽しもう

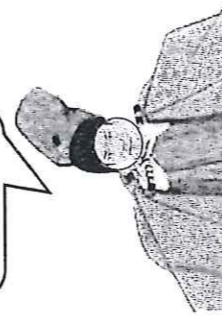
2 ① 66 ページの右中央のQRコードを読みこむと、音声がかかります。じっくり聞いてみましょう。

② 「竹取物語」は、今は何という名で知られていますか。

かぐや姫

③ 66 ページ下の現代語訳を読んでみましょう。大体の内容がわかりましたか？
では、他の古典作品も読んでみましょう。

次の「平家物語」は、武士の一族「平氏」と「源氏」の戦いの話です。命の奪い合いや生きるか死ぬかの瀬戸際が書かれている場面も多いです。平家が栄え、滅んでいくさま書いた「平家物語」は、長い間人々をひきつけてきました。では、聞いてみましょう。



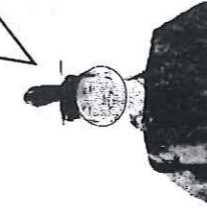
3 ① 67 ページのQRコードを読みこむと、音声がかかります。じっくり聞いてみましょう。

② 現代語訳を読んでみましょう。
大体の内容がわかりましたか？

平家にあらずんば
人にあらず

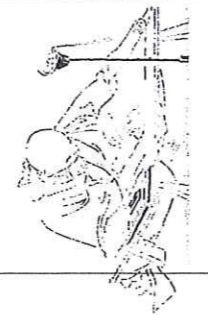


次の古文は、また内容ががらりと変わりますよ。「徒然草」は、鎌倉時代に吉田兼好によって書かれた作品です。清少納言の「枕草子」と鴨長明の「方丈記」とともに、日本三大随筆(すいひつ)と言われています。どんなことが書いてあるのでしょうか。

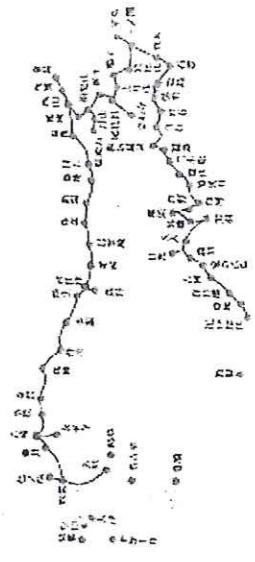
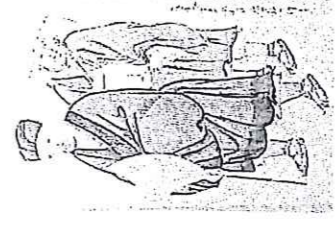


4 ① 68 ページのQRコードを読みこむと、音声がかかります。じっくり聞いてみましょう。

② 現代語訳を読んでみましょう。
大体の内容がわかりましたか？



最後にしようかとする作品は、松尾芭蕉の「おくのほそ道」です。「おくのほそ道」は、松尾芭蕉が旅について記した紀行文です。旅先で見たり聞いたりしたことや、心動かされたことなどが書かれています。
芭蕉が旅したルートは約二四〇〇キロメートルほどあり、百五十日くらいで旅したと言われています。そんな作品の一番最初の部分です。



5 ① 69 ページのQRコードを読みこむと、音声がかかります。じっくり聞いてみましょう。

② 現代語訳を読んでみましょう。大体の内容がわかりましたか？

6 今日、古典の代表的な作品4つを勉強しました。どつでしたか？感想を書きましょう。(思ったこと、感じたこと、考えたこと、気づいたこと、分かったこと、好きな作品など)

☆先生が見ます。

NHK for school の動画もぜひ楽しもう！

- ・おはなしのくに クラシック → 「第1回 竹取物語」「第4回 徒然草」「5回 おくのほそ道」「第9回 平家物語」
- ・100分DE名著 → 「徒然草」「おくのほそ道」

洞が森小 五年 国語 「古典の世界(一)」②

月 日 〆

名前

1 昨日の復習です。次の文から始まる古典の作品名と作者を書きましょう。

始まり	作品名	作者
今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山	竹取物語	?
祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。沙	平家物語	?
つれづれなるままに、日暮らし、硯に向かひ	徒然草	兼好法師
月日は百代の過各にして、行きかふ年もまた	おくのほそ道	松尾芭蕉

漢字をかき！

では、今日は、古文にまがかれている様子を想像しながら、言葉のひびきやリズムを味わい、声に出して読んでみましょう。



古文を声に出して読もう。そして、暗唱しよう！

2 教科書を見ながら、音読しましょう。1回読めたら1つ〇をぬりましょう。文を見なくても言えるようになれるかな？

竹取物語	<input type="checkbox"/>
平家物語	<input type="checkbox"/>
徒然草	<input type="checkbox"/>
おくのほそ道	<input type="checkbox"/>

先生の妹は勉強得意ではなかつたけれど、子どものころに覚えた竹取物語を今でも完ぺきに覚えてました。びっくり～

3 好きな作品を1つ以上暗唱できるように練習しておきましょう！

暗唱は、見ないで文章を声に出してとなえることです。名文を暗唱することはとても大切です。現代語訳を思いつくながら言うと覚えやすいですよ。がんばれ～！



暗唱にチャレンジだ！